

# 牛のかたき打ち

## 1 主 題 自分の行動について考えよう

## 2 主題・教材について

世界人権宣言では、「人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。」と謳われている。しかしながら、現実の人間は、往々にしてその場の勢いや雰囲気流されて自分本位の言動をとり、他人を傷つけてしまいがちである。そして、後に冷静になってふり返った時、自身のまちがいに気づき、後悔の念にさいなまれるといったことも少なくない。

この教材では、飼い主をつき殺した牛の処刑を見てはやしたてる見物人の言動から心情の変化を読み取り、人間には自分に都合よく物事を捉えようとする一面があることに気づかせたい。その上で、人間は生まれながらに授けられている理性と良心により、自分勝手に無責任な自身の言動を制御できるという一面ももち合わせていることを確認させたい。さらには、普段の自分たちの言動をふり返りつつ、自分の言葉や行動に責任をもとうとする態度を身に付けさせたい。

(関連教科・領域：国語・道徳)

- ## 3 ねらい
- ・人間には、自分に都合よく物事を捉えようとする身勝手な面がある一方で、理性と良心で自身を律することができる面もあることを理解する。
  - ・自分自身の言動について責任をもつ意思を高める。

## 4 展開例

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導 入	「牛のかたき打ち」を読んでみよう。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を読み、あらすじ等の確認をする。</li> <li>・読後の感想を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事件と無関係な「むらのもん」が命令によりツキ人(役)となったことを押さえておく。</li> <li>・自由に意見を発表させる。</li> <li>・見物人に意識が向くよう、展開を工夫する。</li> </ul>	
展 開	見物人の言動を拾い出そう。		板書例
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう一度本文を読み、見物人の言動について書かれている部分を抜き出し、発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言を整理し、板書する。</li> </ul>	
	見物人の気持ちを読み取り、考えよう。		
開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言動をもとに、見物人の気持ちを考え、発表する。</li> <li>・見物人の心情の変化を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言を整理し、板書する。</li> <li>・ペアやグループで話し合うことも考えられる。</li> <li>・「ハヨウ ツキコロセー」とカタカナで表記されている意味を考えさせたい。</li> <li>・牛に対する気持ちがいつの間にかツキ人へと向かっていることを確認させる。</li> </ul>	
	ツキ人の立場に立って考えよう。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツキ人の見物人に対する気持ちを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言を整理し、板書する。</li> <li>・自身に全く関係のないことに関わらせられ、見物人から「むごい」と言われることの理不尽さに迫る。</li> </ul>	

展 開	見物人の言動の問題点を整理しよう。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「むらのもんな むごか あげなことせんでもよかろうに……」という言葉に注目し、見物人について思ったことを話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見物人は、 <ul style="list-style-type: none"> <li>*かたき打ちには全く関係が無い立場であること</li> <li>*自身は直接関わらずにはやし立てたり批判したりしていること</li> <li>*ツキ人の気持ちを全く考えていないこと</li> </ul> </li> <li>などの問題点に気づかせたい。</li> </ul>
ま と め	見物人と自身の言動を重ねて考えよう。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>見物人のように、自分本位で身勝手な言動をとってしまったことがないかを考える。</li> <li>自身の言動に責任をもつために必要なことは何かを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間は誰しも自分に都合よく物事を捉えようとする面をもっていることを自覚させる。</li> <li>グループで話し合ったことを全体に発表してもよい。</li> </ul>
	学習をふり返ろう。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「1 Universal Declaration of Human Rights」を読み、自分には理性と良心が授けられていることを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分勝手に無責任な言動をとってしまいがちな部分をもつ人間ではあるが、そういう人間の本質を理解した上で、それらを理性と良心によりコントロールすることができることを押さえる。</li> </ul>
		「1 Universal Declaration of Human Rights」

《板書例》

見物人の言動	見物人の気持ち	ツキ人の気持ち
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇大ぜいの見物人がおしかけ…</li> <li>◇はよう つけー 恩しらすな牛は、なぶりごろしにしてしまえ</li> <li>◇（なかなか死なない。）いらいらしてきた。</li> <li>◇ハヨウ ツキコロセー</li> <li>◇今まで、つけとヤジっていた こんどは牛の方がかわいそうになってきた しだいに、牛をつくツキ人の方がにくらしくなっていた。</li> <li>◇むらのもんな むごか あげなこと せんでもよかろうに……</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆牛の処刑を見てみたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●なぜ自分が牛を殺さなきゃならないのだ。</li> </ul>